

週休2日制の達成基準の運用について

【参考】

○建設業における働き方改革を推進し、担い手の確保を図るため、令和2年度から原則全ての建設工事を週休2日工事に指定し、発注している。

※定義

【完全週休2日工事】：土曜日および日曜日に現場閉所を行ったと認められる状態。

【週休2日工事】：土曜日・日曜日に限定せず、毎週2日以上現場閉所を行ったと認められる状態。
悪天候のため現場閉所している日も休日として取り扱う。

○建設現場では、作業員や建設機械等の稼働日、建設資材の調達日など、関連企業との工程調整を行いながら週休2日の達成に向け取り組んでいるところであるが、**今回、建設業における働き方改革をさらに推進するため、週休2日制の達成基準について以下のとおり変更**を行う。

【達成基準】

	変更前（従来）	変更後（R7.7.15以降）
完全週休2日工事	工事期間内（※）の3割以内の週で土日の現場閉所が未達成であっても、任意の代替日を確保すれば「達成」とみなす。 （判定する週の単位は日曜日から土曜日を基本とする）	工事期間内（※）の3割以内の週で土日の現場閉所が未達成であっても、 同一週内で 代替日を確保すれば「達成」とみなす。 <u>（判定する週の単位（「同一週」の定義）は月曜日から日曜日を基本とする）</u>
週休2日工事	工事期間内（※）の3割以内の週で週2日の現場閉所が未達成であっても、任意の代替日を確保すれば「達成」とみなす。 （判定する週の単位は日曜日から土曜日を基本とする）	工事期間内（※）の3割以内の週で週2日の現場閉所が未達成であっても、任意の代替日を確保すれば「達成」とみなす。 <u>（判定する週の単位は月曜日から日曜日を基本とする）</u>

※工事期間内とは、準備、後片付けを除く現場における稼働期間をいう。

【工事費の積算および工事成績評価の考え方】

上記の基準を満たし「達成」となった場合、従来通り工事成績評価の加点を行う。（工事費は、補正済みのため変更なし）

「未達成」の場合は、補正率分の減額を行い、工事成績評価の加点も行わない。

ただし、**完全週休2日工事で「未達成」であっても、週休2日工事として「達成」した場合は、週休2日工事に係る補正率の計上および工事成績評価の加点を行う。**

週休2日制の達成基準の運用について（判定フロー）

【参考】

【完全週休2日工事】

①達成

月	火	水	木	金	土	日	完全
				1	2	3	—
4	5	6	7	8	9	10	○
11	12	13	14	15	16	17	○
18	19	20	21	22	23	24	△
27	28	29	30	31			○

①同一週内での代替、かつ代替可能な週数以内のため、「達成」と見なす

②未達成（代替週の上限超過）

月	火	水	木	金	土	日	完全
				1	2	3	—
4	5	6	7	8	9	10	○
11	12	13	14	15	16	17	○
18	19	20	21	22	23	24	△
25	26	27	28	29	30	31	△

②同一週内での代替だが、代替可能な週数を超過しているため「未達成」

③未達成（同一週以外への代替）

月	火	水	木	金	土	日	完全
				1	2	3	—
4	5	6	7	8	9	10	○
11	12	13	14	15	16	17	○
18	19	20	21	22	23	24	×
25	26	27	28	29	30	31	○

③同一週以外への代替のため「未達成」

例) 工事期間: 8/1～8/31(週数4週)の場合

代替可能な週数 = $4 \text{ 週} \times 0.3 = 1.2 \div 1 \text{ 週}$
(四捨五入)

代替必要日数: 1日

- 現場閉所日
- 代替の現場閉所日
- 達成（土日閉所）
- 代替日（同一週内）を設けて達成
※工事期間3割以内の週数を上限
- 未達成

※完全週休2日工事が「未達成」となった場合、
週休2日工事として「達成」するか判定

週休2日工事としては「達成」扱い
(同一週内で週休2日確保)

工事期間の週数	代替可能な週数
2週～4週	1週
5週～8週	2週
9週～11週	3週
12週～14週	4週
15週～18週	5週

例) $12 \text{ 週} \times 0.3 = 3.6 \div 4 \text{ 週}$

【週休2日工事】

(8月)

月	火	水	木	金	土	日	週休
				1	2	3	—
4	5	6	7	8	9	10	○
11	12	13	14	15	16	17	○
18	19	20	21	22	23	24	△
25	26	27	28	29	30	31	○

(9月)

月	火	水	木	金	土	日	週休
1	2	3	4	5	6	7	△
8	9	10	11	12	13	14	△
15	16	17	18	19	20	21	○
22	23	24	25	26	27	28	○
29	30						—

(10月)

月	火	水	木	金	土	日	週休
29	30	1	2	3	4	5	○
6	7	8	9	10	11	12	△
13	14	15	16	17	18	19	○
20	21	22	23	24	25	26	○
27	28	29	30	31			—

例) 工事期間: 8/1～10/31(週数12週)の場合

代替可能な週数 = $12 \text{ 週} \times 0.3 = 3.6 \div 4 \text{ 週}$
(四捨五入)

代替必要日数: 4日

- 現場閉所日
- 代替の現場閉所日
- 達成（週2日閉所）
- 代替日（工事期間内）を設けて達成
※工事期間3割以内の週数を上限
- 未達成

※上記例では、1週当たり2日の現場閉所が4週できていないが、工事期間内の約3割内であり、
代替の現場閉所日も確保されているため、「達成」と見なす